

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイセーエブリー二十四株(株)(仮)	階数	地上2F
建設地	京都府城陽市久世荒内・寺田塚本	構造	S造
用途地域	工業地域・準防火地域	平均居住人員	40人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年10月12日
敷地面積	11,554 m ²	作成者	大野 琢也
建築面積	4,513 m ²	確認日	
延床面積	7,102 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 86%
 ③上記+②以外の: 59%
 ④上記+: 59%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 (スコア: 3.0)	Q2 サービス性能 (スコア: 3.1)	Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 2.4)
音環境: 3.2	機能性: 2.7	生物環境: 1.0
温熱環境: 2.8	耐用性: 2.9	まちなみ: 3.0
光・視環境: 3.0	対応性: 3.7	地域性: 3.0
空気質環境: 3.2		

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー (スコア: 4.2)	LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.5)	LR3 敷地外環境 (スコア: 3.4)
建物外皮の: N.A.	水資源: 3.5	地球温暖化: 4.0
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 3.7	地域環境: 3.0
設備システ: 5.0	汚染物質: 3.0	周辺環境: 2.7
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項	
省エネルギー機器の採用や、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	その他: 0
Q1室内環境 ・吸音性のある材の採用し騒音に配慮している。 ・各階に喫煙室を設け、排気は独立ダクトにて直接屋外開放する等、他室へ流入しないように対策を行っている。	Q2サービス性能 ・耐用年数の長いダクト、配管材を利用し、建物の耐用性の工場に配慮している
LR1エネルギー ・断熱材の高い建材を採用し、建物を熱負荷制御に配慮している。 ・LED照明、太陽光発電設備を採用し、エネルギー消費量を抑えている。	LR2資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。
	LR3敷地外環境 ・駐車場、駐輪場を確保や出入りのしやすい駐車場計画、待機スペースの確保により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される